

6 春どりレタス品種比較試験

背景と目的

市内で行われている玉レタスの4・5月収穫の作型では、「サリナス 397」が基幹品種として長く使用されています。近年、新しい品種が各メーカーから販売されているため、それらの特性を調査して、新たな品種選定の資料とすることが目的です。

関係先 旭川青果物生産出荷協議会レタス部会

耕種概要

- ・ 供試品種：4 品種（表 1）
- ・ 作型：無加温ビニールハウス栽培
- ・ は種日・定植日：は種 1 月 5 日，鉢上げ 2 月 2 日，定植 3 月 7 日
- ・ 施肥量：N:P:K=12:2.4:4.8 (kg/10a)

試験結果

- ・ 結球期，収穫期

結球期は SM1-043 が標準品種より 4 日早かったです（表 1）。収穫期は SM1-043 が標準品種より 11 日早く，標準品種が最も遅かったです。

- ・ 病害の発生程度

灰色かび病の発生が目立ちましたが，標準品種での発生が最も低かったです（表 1）。

表 1 供試品種と各結球期，収穫期および灰色かび病の発生割合（％）

品種（種苗会社）	結球期	収穫期	灰色かび病
サリナス 397（標準品種）	4 月 1 日（25）	5 月 6 日（60）	25
SM1-043（サカタのタネ）	3 月 28 日（21）	4 月 25 日（49）	57
ツインセット（サカタのタネ）	4 月 1 日（25）	4 月 27 日（51）	43
パスポート（タキイ種苗）	4 月 3 日（27）	5 月 2 日（56）	55

※各期間の括弧内の数字は，定植日からの日数

- ・ 特性調査

平均 1 球重，長球径，短球径に大きな差はありませんでした。球高は SM1-043 が標準品種より低く，扁平傾向が見られました（表 2）。

表 2 平均 1 球重，球高，長球径，短球径

品種	平均 1 球重 (g)	球高 (cm)	長球径 (cm)	短球径 (cm)
サリナス 397（標準）	540	13.1	15.9	15.1
SM1-043	558	11.5	15.9	15.3
ツインセット	525	13.0	16.4	15.3
パスポート	558	12.4	15.7	14.8

・規格内収量

灰色かび病の発生が多かった品種は収量が減少したことから、標準品種が最も多収でした（表3）。

表3 規格内収量 (kg/10a)

品種	規格内収量
サリナス 397 (標準)	4,497
SM1-043	2,583
ツインセット	3,307
パスポート	2,685



図1 サリナス 397



図2 SM1-043



図3 ツインセット

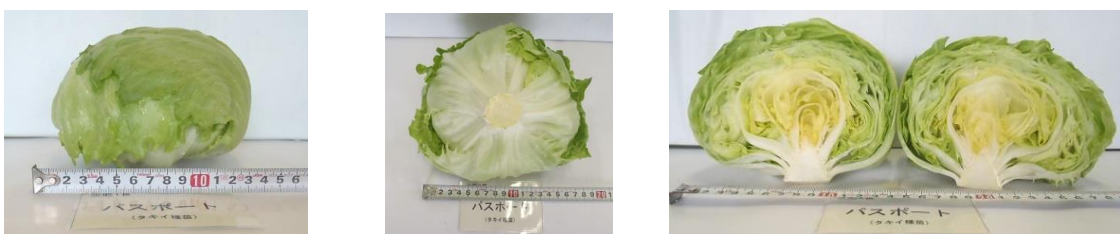


図4 パスポート

まとめ

標準品種は病害株の少なさから最も多収となり、特性調査では品種間の大きな差が見られなかったことから、標準品種を上回ると認められる品種はありませんでした。

二カ年で同規模の試験を行いましたが無望品種が見つからないことから、次年度試験では23品種を栽培し、その中から代替候補として数品種を選び出す計画です。